

認知症の方にやさしいまちづくりを目指して

認知症について学び、正しく理解することで、認知症の方にやさしいまちづくりを指すために、総合的な学習の一環として多良木小学校4年生を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。認知症は誰にでも起こりうる「脳の病気」です。高齢化が進むなか、認知症になっていく人も、住み慣れたまちで安心して暮らしたいと誰もが願っています。今回認知症はどのようなものか、また、認知症の方にはどのように接したらよいかという事を中心に、DVDによる映像などを交えながらお話させていただきました。受講した児童からは「認知

症は覚えたりすることが苦手になることなどを学びました。」や「認知症の人と接する時は優しい声掛けをしたいと思います。」等の感想が聞かれました。最後に地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する認知症サポーターの証として生徒や先生にオレンジリングが手渡されました。



次の方々から社会福祉のためにご寄附をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。(敬称略: 受付順)

福田 道代(故 洋子) 久8区

木村 さつき(故 田山十内) 多7区の1

椎葉 直宏(故 秋子) 黒7区

東 嘉紀(故 成一) 多2区の1

宮原 文之(故 富子) 多2区の2

池井 清(故 リツ) 黒1区

大石 フジカ(故 二郎) 久2区

福岡 文子(故 権頭ミコト) 久4区

老人クラブ連合会のディスクゴルフ大会

健康づくりの一環として、老人クラブ連合会(宮崎正毅会長)主催のディスクゴルフ大会がえびす広場で開催され、15チーム約100人の会員が参加しました。当日は天候にも恵まれ、最初は慣れないディスク操作に悪戦苦闘されていた会員も、ホールが進むにつれ投数も少なくなり競技を楽しみました。大会の成績は、次のとおりです。

- 優勝..黒肥地3区チーム
第2位..黒肥地7区チーム
第3位..久米5区の3
黒肥地10区混合チーム



【ディスクゴルフとは?】ディスクゴルフは、ボールのかわりにフライングディスクを投げ、バスケット型の専用ゴールに何回で入れられるか、全9ホールの合計スコアで最少投数を競うスポーツです。主なルールは、一般のゴルフとほぼ同じです。

買い物サポートボランティア

町内の施設からの依頼で、利用者さまの買い物行事に同行して、品物選びや支払い等のサポートをされています。今回は奥野にある、デイサービスセンター(多良木町通所介護事業所)が利用者の皆さまに自分で見て、選んで買う楽しさや生活リハビリの一環として実施している買い物レクリエーションに、5日間で延べ25人のボランティアにご協力いただきました。

ボランティアの皆さまにお手伝いいただき、利用者の皆さまもとても楽しめました。本当にありがとうございました。

